

奇妙な感じが横行してい

る。その名を「野次馬新聞」

といふ。

「テイスカバー明治

の旗のもと、和景のサークル

室の戸隠で、生田の授業後の

机の上に、本校のガミ箱の脇

に、好奇心の強い人間の居る

所どこへも風に吹かれて飛

んでいく。

「学費値上げ決定！」だが

その裏側は、独占スクール

（第三号）「裏口入等を

めぐる著名な教授達の動向

・年末特集（第

二号）「日本共産

党の黒い本質を暴露する」（第二

五号）「特集――

今だから語り、

教授の出世法」

（第三号）これまでに出た各号の見

出しである。第三号では「出世のた

めに自分の恋人を

他人の嫁さんだ」

した教授の話や

「学部長の娘をも

りって出世ノースを稼ぐとい

る」教授の話が事細かに書か

れている。

鹿鹿鹿鹿ひいほどの暴露題

味とゴシッパ性の追及であ

る。だからおもしろい。

次に何が出て来るかと思ひ、非常

に重要ないじ事が書いてあるよ

うで、とにかくへほんといふは

んどうなのが、と感心させる。

るがヤリ玉にあがつた教授

が、表面は全く無視すること

で、本題をついでねらひこなが

らも、内心ながらさういふ

編集長の黒い正体を暴く」

迷兎大学新聞編集者

姿を想像すると愉快なものある

し、書こうあることがほんと

いつも權威をつりあげて

ゆく。その權威が重苦しいが

ゆえにアーバー的コミュニ

ケーション媒体になつてしま

うを感じる。『三』・

ニケーションの用

に供するためなら

ば、權威も型も永

続性も必要としな

いのだから。

風に飛ばされ噂

に流れ新聞が巷

にあふれたら実に

楽しいであろう。

人の好奇心はその

新聞をどうでも運

んでゆく。「明大

番外地の性態を銃

くすぐるしボ

ト」と豪語する「野次馬新

聞」――。新舊特大号の内容

を未定と予告しながらも

△花は桜、恋情な春なのだ。

春はあるものの、障子は「張

る」ものと詭う編集人氏で

ある。赤瀬川原平の「野次馬小

僧が世の中を騒がせて二年。

野次馬精神はどうして暴れ回

るが期待したい。「明治大

学新聞」次号予告「明治大学

の敵「野次馬新聞」

で、本題をついでねらひこなが

らも、内心ながらさういふ

編集長の黒い正体を暴く」

迷兎大学新聞編集者

## スキンダルの極地へ 野次馬新聞

の廣のもので、生田の授業後の  
室の戸隠で、生田の授業後の  
机の上に、本校のガミ箱の脇  
に、好奇心の強い人間の居る  
所どこへも風に吹かれて飛  
んでいく。

「学費値上げ決定！」だが  
その裏側は、独占スクール  
（第三号）「裏口入等を  
めぐる著名な教授達の動向

・年末特集（第  
二号）「日本共産  
党の黒い本質を暴露  
する」（第二  
五号）「特集――  
今だから語り、  
教授の出世法」

（第三号）これまでに出た各号の見  
出しである。第三号では「出世のた  
めに自分の恋人を  
他人の嫁さんだ」

した教授の話や  
「学部長の娘をも  
りって出世ノースを稼ぐとい  
る」教授の話が事細かに書か  
れている。

鹿鹿鹿鹿ひいほどの暴露題  
味とゴシッパ性の追及であ  
る。だからおもしろい。  
次に何が出て来るかと思ひ、非常

に重要ないじ事が書いてあるよ  
うで、とにかくへほんといふは  
んどうなのが、と感心させる。  
るがヤリ玉にあがつた教授

が、表面は全く無視すること  
で、本題をついでねらひこなが  
らも、内心ながらさういふ  
編集長の黒い正体を暴く」

迷兎大学新聞編集者